

日常生活動作に対するリハビリテーションの効果（2021年度）

※FIM（Functional Independence Measure:機能的自立度評価法）

日常的な基本動作を行えるかを判断するもので、運動項目と認知項目の計18項目を7段階で評価します。得点が高いほど日常生活で動いていると判断します。

入院患者全対象

項目	全体 (N = 817)	運動器 (N = 324)	廃用症候群 (N = 357)	呼吸器 (N = 81)	脳血管 (N = 55)
年齢, 歳	80	78	80	82	79
性別, 女性%	53.7	63.6	50.1	33.3	49.1
透析あり, %	53.1	38.6	60.5	60.5	44.0
介入日数, 日	21	26	16	21	24
在宅復帰率, %	73.9	80.2	76.2	48.1	60.0
自宅復帰率, %	64.9	72.5	67.2	35.8	47.3
入院時 FIM, 点	84	85	89	56	58
退院時 FIM, 点	96	105	95	61	74
FIM 改善, 点	4	9	2	0	2

急性期のみ

項目	全体 (N = 515)	運動器 (N = 182)	廃用症候群 (N = 225)	呼吸器 (N = 80)	脳血管 (N = 28)
年齢, 歳	78	77	80	80	79
性別, 女性%	51.9	62.8	47.7	33.3	44.1
透析あり, %	57.2	40.3	63.6	71.1	91.2
介入日数, 日	17	20	12	13	21.5
在宅復帰率, %	75.9	79.6	78.6	55.5	61.8
自宅復帰率, %	67.3	71.4	71.5	42.2	47.1
入院時 FIM, 点	87	87	92	67	59
退院時 FIM, 点	97	105	96	67	74
FIM 改善, 点	2	6	0	0	0

地域包括直入院のみ

項目	全体 (N = 160)	運動器 (N = 57)	廃用症候群 (N = 75)	呼吸器 (N = 18)	脳血管 (N = 10)
年齢, 歳	82	84	84	81	78
性別, 女性%	60.0	68.4	62.7	22.2	60.0
透析あり, %	41.2	31.6	48.0	38.9	50.0
介入日数, 日	24	25	21	35	31
在宅復帰率, %	70.0	82.9	69.3	50.0	60.0
自宅復帰率, %	57.5	77.3	56.0	33.3	50.0

入院時 FIM, 点	78	83	83	35	78
退院時 FIM, 点	93	96	93	50	97
FIM 改善, 点	5	6	5	0	5

入院患者全対象【透析を受けている患者の比較】

	透析あり (N = 434)	透析なし (N = 383)
年齢, 歳	77	81
性別, 女性%	42.6	66.3
介入日数, 日	20	21
在宅復帰率, %	73.8	74.1
自宅復帰率, %	67.1	62.4
入院時 FIM, 点	77	82
退院時 FIM, 点	86	89
FIM 改善, 点	2	6

◆2019年度と2020年度の比較

	FIM	2019年度	2020年度	2021年度
全体	入院時, 点	79	76	84
	退院時, 点	86	85	96
	FIM 改善, 点	7	9	4
運動器	在宅復帰率, %	72.4	74.0	73.9
	入院時, 点	85	81	85
	退院時, 点	96	95	105
廃用症候群	FIM 改善, 点	11	17	9
	入院時, 点	79	78	89
	退院時, 点	84	84	95
呼吸器	FIM 改善, 点	5	6	2
	入院時, 点	65	58	56
	退院時, 点	67	62	61
脳血管	FIM 改善, 点	2	4	0
	入院時, 点	74	60	58
	退院時, 点	76	70	74
	FIM 改善, 点	3	9	2

2021年度のリハビリテーションの効果をまとめました。

リハビリテーションを実施した全ての患者さん・急性期の患者さん・地域包括ケア病棟の患者さんに分けて表示しました。リハビリテーションを受けた患者さんは、入院時と比較し、退院時には日常生活動作（歩行など）が改善していました。在宅復帰率は70%以上を毎年維持できています。引き続き、患者さんに在宅に戻っていただけるように取り組んでいきます。

どうぞ、ご参考にしてください。

作成日：2022/6/8 作成者：黒田 健太、松藤 勝太